

# 分科会紹介

参加無料

19、20日とも託児を設けます。  
申込みは10月末で締め切りました。



## 11月20日(日)

受付 9:30  
10:00～15:00

会場: 岐阜大学  
柳戸キャンパス(地域科学部教室)

実践報告とそれに対しての討論が中心です。  
課題別・教科別の分科会で意見交換・学習などを行います。  
参加無料ですので、お気軽にどうぞ。③⑭⑮以外は、教員の

①	子どものからだ・心 ～保健室からの発信～
②	子どもの生活・文化・自治活動・地域づくり
③	不登校・ひきこもりを考える <small>午前中は教員の実践、午後は親の思いを交流。全体講演の高垣忠一郎さんも参加します。</small>
④	子どもの障がいと特別支援
⑤	子どもの表現・作文・つづり方
⑥	国語教育(午前)
⑦	社会科教育(午前) / 平和教育(午後)
⑧	算数・数学教育
⑨	楽しい理科
⑩	外国語教育(小学校英語の授業も含む)
⑪	子どもの読書・図書館教育
⑫	実習教員なんでもフォーラム(午後)
⑬	教職員の生活と権利(ローアノ=労働安全衛生法)(午前)
⑭	<b>特設</b> 子どもの貧困 <small>学校や、無償塾などからのレポートがあります。「貧困」について共に考えましょう。</small>
⑮	<b>特設</b> 「非行」と向きあうおとなたち(午後) <small>元保護観察官の方も参加されます。</small>

### 分科会について

青い枠の分科会は主に教員の実践レポート発表が中心になります。「学校ではこんなふうにして授業を考えているんだな」と知る機会になると思います。一般の方の参加も自由です。



### メッセージ

実行委員長  
土岐邦彦さん  
(岐阜大学教授)

今日ほど、子ども・若者の生活と発達が脅かされようとしている時代があったでしょうか。

7月に起きた相模原での障害者殺人事件は大きなショックを呼び起こしました。子ども・若者が犠牲者となり、そして加害者となった事件も相次いでいます。貧困による子どもたちの生活への圧迫もかつてないほど進行しています。

子ども・若者、そしてすべての人間の生活と発達を保障し、平和をきづく砦としての憲法が公布されて70年。大切な節目の年だからこそ、「国民のいのちと生活を守る地域でのとりくみ」と、「子ども・若者の発達と権利を保障しようとする教育・福祉現場でのとりくみ」をより深く結びつけていくことが必要ではないでしょうか。

憲法の精神を踏みにじり、真逆な方向に舵取りされようとしている時代。今こそ、子どもたちの心に寄りそって、子どもたちのねがいに耳を傾けるおとなたちの協力が求められています。今回の「つどい」は、子ども・若者にどのような力を育てていくのか、そのためにおとなたちは何をすべきかを語り合う場にしたいと考えています。

子どもたちにたしかかな未来を手渡すための一歩を踏み出せる契機になることをねがいつつ、多くのみなさんの参加を呼びかけます。